

入院診療計画書「前立腺全摘除術を受けられる

さんへ」 No.1

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族) 確認サイン

月日	/		/		/		/		
経過	入院時		手術前日		(手術前)	手術当日	(手術後)	術後1日目	
到達目標	手術の必要性が理解でき心身の準備ができる					術後合併症を起こさない			
治療処置	手術前日までに麻酔科医の診察があります		15時に下剤を服用していただきます 下腹部・陰部の毛を切ります		7時に洗腸をします 回診後点滴をします 術衣に着替えます		回診時、医師が傷の観察やガーゼの交換をします 止血剤や抗生剤の点滴をします 腹部に余分な血液や分泌物を出すための管が入ります 尿の管が入ります 背中に麻酔用のチューブが入ります 食事開始まで吸入(超音波ネブライザー)をします		
手術	□無 ・ □有 (術式:)								
検査	採血・検尿・レントゲン・心電図・CTの検査があります 身長・体重を測ります						採血があります		
薬剤服薬指導	日頃服用している薬があればお知らせください 服用を中止する薬があればご連絡します		眠れないときは安定剤の内服ができません		血圧や心臓の薬など服用する必要がある場合はご連絡します		痛み止めの座薬など、苦痛の状態に応じて薬剤を使用します		
全身管理症状	体温・脈拍・血圧を測ります 排尿状態をうかがいます 尿を貯めていただきます 腹式呼吸の訓練をします 喫煙されている方は禁煙してください						手術後は適宜、体温・脈拍・血圧を測ります 痛みや吐き気がないかどうかをうかがいます 傷や尿の観察をします 酸素吸入をします 手術後はICUに泊ります 午前中にICUを出ます		
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。 普通食あるいは治療食になります		24時以降は何も食べられません 飲水はできます		9時以降は何も食べたり飲んだりできません		何も食べたり飲んだりできません		
安静度	制限はありません						ベッド上で安静です 許可があるまで起き上がったり寝返りはできません		
清潔	入浴できます				洗腸後、シャワーに入ります		看護師が体を拭き、更衣をお手伝いします		
患者・家族への説明	主治医が治療計画や手術について説明します 検査によっては入院前に行なう場合があります 看護師が入院生活について説明します 術後の尿漏れ予防のための「骨盤底筋運動」をおすすめします 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください 手術の必要物品を確認します		手術同意書・輸血同意書をお預かりします 手術室看護師が訪問します		手術は()からの予定です 手術室へは歩いて行きます		主治医が手術の経過について説明します 尿の管は引っ張った状態で太ももに固定します 止血、傷の離開や管の閉塞を防ぐためです		

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。






(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名

入院診療計画書「前立腺全摘除術を受けられる

さんへ」No.2

(病名)	(症状)	(説明日)	年	月	日	(ご本人・ご家族)	確認サイン
月日	/	/					
経過	術後2日目	術後3日目	術後4～7日目		術後8日目～		退院時
到達目標	術後合併症を起こさない			尿漏れが改善され、退院に向けた準備ができる			
治療 処置		→ 術後7日目に傷の糸を半分とります	→ 術後8日目に傷の糸を全部取ります		状態によっては追加加療を行います		
	→ 夜、点滴が終了します	→ 術後4日目に腹部の管を抜きます					
	→	→ 術後7日目膀胱尿道造影検査後、尿の管を抜きます					
	→ 麻酔用チューブを抜きます						
手術	□無 ・ □有 (術式:)						
検査		膀胱尿道造影検査があります	膀胱尿道造影検査があります		術後1週間目に採血・検尿があります		
薬剤 服薬指導	食事開始後より、常用薬を再開します		点滴終了後、抗生剤を服用していただきます(7日間)		薬剤師が退院後の服薬について説明します		
	術前に中止していた薬を再開する場合はお知らせします						
全身管理 症状			尿の管を抜いた後は、尿を貯めていただきます		→ 退院後は以下に注意してください ・傷の痛みがある ・尿が出にくい ・血尿や尿が濁る ・発熱 傷や腹部に力がかかる動作は避けてください		
			尿漏れの量を測定し、記録していただきます				
栄養	排ガスの確認後 朝: 飲水できます 昼: 流動食 夕: 3分粥		朝: 5分粥 昼: 7分粥 夕: 全粥	朝～手術前の食事になります			
安静度	自力で座ることができます	ベッドサイドに座ったり、ポータブルトイレに移動することができます	膀胱尿道造影検査の結果、歩行許可となります		→ 		
清潔			→ ウォッシュレットや専用ボトルを使用し陰部の清潔を保ちます	傷の糸をとった翌日からシャワーができます		→ 	
患者・家族 への説明	飲水許可後は、尿の勢いを保ったり尿をきれいにするため、水分を十分に摂ってください		尿漏れの程度や期間は個人差があります		主治医が退院前に、検査の結果について説明します		退院の手続方法や次回受診について説明します 原則として退院は午前中にお願います (土日は午後からになります)
			尿漏れの状態に応じて、リハビリパンツや尿とりパットの使用を検討します				
			骨盤底筋運動が尿漏れの改善に有効です				

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名